

道 建 第 208 号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

秋田市長 佐 竹 敬



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記につきまして、別添のとおり回答いたします。

○道路整備の予算と財源の確保について

- ・ 自動車交通に大きく依存せざるを得ない状況にありながら、道路整備が立ち後れている地方の実状をふまえ、均衡ある地域の発展と地域住民が熱望する道路整備を推進するため、道路特定財源の一般財源化後も必要な道路予算を優先的に確保することが重要。
- ・ 地方の創意・工夫を活かした個性的な地域づくりを推進するために、地域の課題に対応した道路整備が進められるよう、地方道路整備臨時交付金の更なる拡充が必要。

○真に必要な道路に関する地方の視点について

- ・ 地方と大都市圏では、道路に求められる役割が異なることから、同じ手法で評価することは好ましくない。したがって、走行時間・走行経費・交通事故で算定される現行のB/Cではなく、地域経済や防災、医療など地域の実状に応じた評価が必要。

○都市自治体への権限移譲について

- ・ 国から地方、都道府県から市町村への権限移譲に当たっては、適切かつ確実な財政措置を行うとともに、必要不可欠である専門的な人材育成等の仕組みを構築することが必要。

○市町村道除雪費に対する臨時特例的措置の拡充および恒久的補助制度の創設について

- ・ 幹線市町村道の除雪費に対する臨時特例的措置について、補助対象をその他道路まで拡充するとともに、交付税措置されている通年の除雪費に加え、恒久的補助制度を創設することが必要。

②-1 地域の現状と抱える課題

秋田県秋田市

○現状

高速道路の早期ネットワーク化

・北東アジアの物流拠点として国際競争力に勝ち抜くためには、海路のみならず、陸路を含めた物流ネットワークの形成が必要である。
また、県内の高次医療施設はすべて秋田市に集中していることから、県民の約1/4にあたる29万人が高度医療施設から60分圏域外となっている現状の改善が望まれているとともに、人口減少が進む中、観光客など交流人口の拡大による地域の活性化が必要となっている。
しかしながら、県境部や県北部における、つながらない高速道路や、秋田港と高速道路を直結する幹線道路が未整備であることから、十分な効果が発現されていない。

渋滞対策

・市内の約10箇所の渋滞ポイントにおいては、朝夕の通勤時間帯に渋滞が発生しているうえに、冬期の通勤時間は通常の約2倍となっている。特に国道7号の下浜地区や国道13号の河辺地区では、2車線道路に2万台以上の交通が集中している。

災害に強いまちづくりを支える道路整備

・幹線道路に迂回路のない箇所もあり、災害時の代替路線を確保する必要があるほか、生活道路には狭隘な道路も多く、火災の延焼防止や緊急車両の進入路確保のため、拡幅整備が必要な状況となっている。
また、積雪寒冷地での安全・安心には、冬期の道路交通の確保が不可欠であり、市民要望の第一位である除排雪の充実や、堆雪帯を備えた広幅員の道路、融雪施設、防雪柵等の整備に多額の経費を必要とする。

○課題

**日本海沿岸東北自動車道の早期全線開通
東北中央自動車道の早期全線開通
秋田港と高速道路を直結する大浜上新城線の早期整備**

**国道7号下浜道路の早期完成
国道13号河辺拡幅の早期完成
都市内幹線道路のネットワーク化の推進**

**日本海沿岸東北自動車道の早期全線開通
国道7号下浜道路の早期完成
都市内幹線道路のネットワーク化の推進
区画整理事業の推進
市町村道除雪費に対する臨時特例的措置の拡充および恒久的補助制度の創設**

○快適なまちづくり

- ・道路網全体としての機能が発揮されるよう整備を進めるほか、幅員の確保や歩道整備などの安全の確保、バリアフリー化などの機能性の向上につとめます。また、地域特性や利用状況に応じた公共交通形態の再構築を行い、少子高齢社会にも対応した市民の移動手段の確保と充実に取り組みます。

○活力に満ちたまちづくり

- ・市町合併により市域内に陸・海・空の広域交通結節点がそろい、今後はそれぞれの交通機能の利便性向上とネットワーク化をはかるとともに、交通機能を最大限いかしながら、商工業・観光・学術・医療・福祉など広範な分野にわたって都市機能の集積を図り、魅力あるまちづくりを進めます。

○安全安心に暮らせるまちづくり

- ・今後も自動車保有台数の増加傾向は続き、歩行者や自転車の交通環境は厳しい状態が続くと予想されるため、危険箇所の改良や整備を進めるとともに、自転車利用環境の整備により、歩行者にも自転車にもゆとりのある空間の確保につとめます。
また冬期においても、早期除雪対応などにより安全で円滑な道路交通の確保につとめ、堆雪場の適正配置をはじめとする雪国に適した公共施設の整備のあり方を構築します。

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

秋田県秋田市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
高速交通ネットワークの整備	高速道路の整備 ・日本海沿岸東北自動車道の早期全線開通 基本計画区間の「あきた北空港～二ツ井白神間」、「象潟～酒田みなと間」、「温海～朝日間」の早期着手。	地域活力の向上 ・日本海沿岸都市との、経済交流や交流人口の拡大。	
地域内交通ネットワークの整備	放射・環状道路の整備 ・都市計画道路の不連続区間解消。	都市交通の利便性の向上 ・渋滞緩和。 温暖化対策 ・CO₂の削減。	
安全、安心な道づくり	生活道路の整備 ・狭隘道路の拡幅。 ・歩道設置。 ・交差点改良。 防災計画に基づいた、道路網の整備 ・電線類の地中化。	少子高齢社会に対応した環境 ・バリアフリー化等の機能性向上。 ・自転車利用環境の向上。 ・冬期の道路交通確保。 災害に強いまち ・緊急輸送路の確保。 ・避難経路の確保。	